

基本事業コード	10010001	担当課所名	吉田総合支所市民福祉課
基本事業名 吉田総合支所市民福祉事務			
総合振興計画 の位置づけ	分野	6	行財政運営
	政策	1	行政運営
	施策	-	-
			総合振興計画 75 ページ

基本事業の概要
主に吉田総合支所管内在住の市民及び近隣の市民に対し、本庁の市長室、総務部、財務部、市民部、福祉部等で行っている行政サービスの一部を提供して、本庁まで訪れなくても用事が済むように利便性を高める。さらに、住民と身近に接することの中から信頼関係を築き、住民との協働によるまちづくりや、吉田地域の特色を生かした地域づくりを推進する。また、本庁各部署と連携して事務の効率化を図る。

対象 (主に) 吉田壮支所管内在住の市民 / 吉田総合支所職員
意図 (対象をどのようにしたいか) 地域に密着した行政サービスを提供する / 効率的に事務を進められるようにする

基本事業指標	指標の算式	単位	29年度	評価年度(30年度)		R2年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
地域密着サービスを行うべきと判断した事務数に占める実数	実事務数 / 所管すべき事務数 × 100	%	100	100	100	100	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			30年度	単位	事務事業評価 R2年度以降の 事業の方向性 コスト: 成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		29年度決算額	30年度決算額	R元年度予算額	実績値(下段)			
01	本庁総務関係共同事務	指標:			-		A	
		0	0	0	-		維持; 維持	
02	本庁市民福祉関係事務共同事務	指標:			-		A	
		0	0	0	-		維持; 維持	
03	会館維持管理事務	指標: 吉田振興会館・やまなみ会館利用者			12,000	人	A	○
		5,593,875	5,677,870	7,541,000	7,960		維持; 維持	
04	集会所・生活改善センター等管理事業	指標: 貸付地区数			14	施設	A	
		690,245	690,245	691,000	14		維持; 維持	
05	集落活性化対策事業	指標: 集落支援員活動回数			45	回数	A	
		88,778	64,056	161,000	32		維持; 維持	
06	吉田・太田地区乗合タクシー運行事業	指標: 年間延べ利用者数			1,200	人	A	◎
		7,183,723	6,964,000	7,005,000	1,001		維持; 維持	
07	吉田総合支所庁舎管理事業	指標: 庁舎管理不備による事故件数			0	件	A	
		18,568,928	16,487,753	30,428,000	0		維持; 維持	
08	タイ王国ヤソトン市姉妹都市交流事業	指標: 交流団派遣者数及び来秩者数			75	人	A	
		0	0	0	66		維持; 維持	
09		指標:						
10		指標:						
11		指標:						
12		指標:						
13		指標:						
14		指標:						

(参考) 最終予算額(円) 34,547,000 32,538,000

事業費の合計(円) (A) 32,125,549 29,883,924 45,826,000

財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他特定一般財源	32,125,549	29,883,924	45,826,000

正規職員	業務量	10.06人	10.71人
	人件費(B)	59,039,816	64,702,708
臨時職員 (事業費に含む)	業務量	1.90人	0.75人
	人件費	2,718,036	1,768,469

事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B) 91,165,365 94,586,632

【重点化欄】

評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から

◎: 特に重点化必要事業(1つ以内)

○: 重点化必要事業(1つ以内)

△: 劣後化可能事業(1つ以内)

▲: 特に劣後化可能事業(1つ以内)

成果の方向性	拡充	×	G, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
		皆減 縮小 維持 拡大 コスト投入の方向性			

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ 吉田総合支所市民福祉課は、本庁の市長室、総務部、財務部、市民部、福祉部、保健医療部等と連携し業務を行っている。また、その他にも地域に密着した各種行政サービスを提供している。主に吉田地域の住民が本庁まで訪れなくても要件が済むよう各事務事業を実施し、住民の利便性を考慮するとともに、行政サービスの窓口を充実させることを目標としているため目標値の設定は適切である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？（過不足がある場合は、改善提案に記載する。） 地域住民に密着した行政サービスを提供する部門であり、住民との協働によるまちづくり、吉田地域の特色を生かした地域づくりを推進することは市として必要なことであり、妥当と考える。また、市民に対する行政サービスの窓口として、総合支所を適切な状態に維持管理し、OA機器のリースなどで、行政サービスの効率化を進めることは重要である。
実施主体の妥当性	事業に対する民間（市民、企業、NPO）との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 吉田地域は地域が広範囲で、高齢化が進んでいる地域も多く、市民に密着した行政サービスは今後も必要とされる。また、町会関係や福祉関係の行政事務は、住民と身近に接することにより、信頼関係を築くことで住民との協働によるまちづくりや地域づくりを推進するため必要なことであり、市の関与の仕方も適切と考える。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
<p>表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、◎、○、△、▲を選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述</p> <p>06「吉田・大田地区乗合タクシー運行事業」を最重点化する事業として選択したのは、吉田・大田地区には、路線バス、電車等が運行していない地区があり、住民の交通手段として必要不可欠な事業となっているためである。また07「吉田総合支所庁舎管理事業」は、老朽化した総合支所庁舎を適切に維持管理を進めていく。</p>		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)		
予算を伴わない 短期的(1~2年)に 取り組む改善提案	引き続き、総合支所の窓口として、地域住民の様々な要望に速やかに対応できるよう、情報の共有や職員間の連絡を密にするるとともに、地域振興課と連携強化に努める。	29年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下) 総合支所の窓口として、地域住民の様々な要望に速やかに対応できるよう、情報の共有や職員間の連絡を密にするるとともに、地域振興課と連携強化に努める。 地域住民との、情報共有を行い職員間の連絡を密にし要望等に速やかに対応できた。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(7)組織力の向上
予算を伴う 短期的(1~2年)に 取り組む改善提案		
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	
中長期的(3~5年)に 取り組む改善提案	引続き集会所・生活改善センター等管理事業について、ファミリーマネジメントの推進のため、地元町会との協議に努める。振興会館2階、旧議会議務局の空部屋をヤソトン市との姉妹都市交流事業で寄贈された記念品の展示スペースとし、希望者に自由に見学してもらおうよう活用方法を検討したい。	集会所・生活改善センター等管理事業について、ファミリーマネジメントの推進のため、地元町会との協議に努める。振興会館2階、旧議会議務局の空部屋をヤソトン市との姉妹都市交流事業で寄贈された記念品の展示スペースとし、希望者に自由に見学してもらおうよう活用方法を検討したい。 集会所・生活改善センター等管理事業のファミリーマネジメントの推進については、各支所の足並みを揃え同条件で方針を定めてから地元町会との協議を進めていく方向となっている。展示方法等について検討中。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(1)公共施設等ファミリーマネジメントの推進
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー		
窓口業務の充実、既存施設の有効活用により、市民満足度の向上が見込まれる。また、集会所・生活改善センター等の管理事業についての地元町会との協議は、ファミリーマネジメントの推進につながる。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	小松 伸也	電話番号 0494-72-6082
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	10020001	担当課所名	吉田総合支所地域振興課
基本事業名 吉田総合支所地域振興事務			
総合振興計画 の位置づけ	分野	6	行財政運営
	政策	1	行政運営
	施策	-	-
			総合振興計画 75 ページ

基本事業の概要 吉田総合支所管内の市民に対して、本庁の環境部、産業観光部、地域整備部で行っている行政サービスの一部を提供して利便性を高めるとともに、自主事業として指定管理者と連携し、吉田元気村等の指定管理施設への誘客を行い、地域産業の振興を図る。

対象 吉田支所管内の市民及び吉田を訪れる方
意図 (対象をどのようにしたいか) 地域に密着したサービスを提供するとともに、地域振興を図り観光誘客を推進する。

基本事業指標	指標の算式	単位	29年度	評価年度(30年度)		R2年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
吉田地域を訪れる入込観光客数	本年度来客数	人	462,322	490,000	474,073	490,000	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			30年度	単位	事務事業評価 R2年度以降の 事業の方向性 コスト:成果	重点化	
		事業費(円)			目標値(上段)				
		29年度決算額	30年度決算額	R元年度予算額	実績値(下段)				
01	本庁環境部との共同事業	指標:	-	-	0		A		
			0	0	0		維持;維持		
02	本庁産業観光部との共同事業	指標:	-	-	0		A		
			0	0	0		維持;維持		
03	本庁地域整備部との共同事業	指標:	-	-	0		A		
			0	0	0		維持;維持		
04	農業関連施設維持管理事業(吉田地区農村公園管理費)	指標:施設数	2,338,104	2,338,104	2,339,000	3	施設	A	
			2,338,104	2,338,104	2,339,000	3		維持;維持	
05	自然公園施設等維持管理事業	指標:管理業務実施回数	37,631	36,720	40,000	14	回	A	
			37,631	36,720	40,000	14		維持;維持	
06	山逢の里誘客管理事業	指標:利用人数	5,980,749	3,897,321	5,278,000	7,000	人	B	
			5,980,749	3,897,321	5,278,000	6,372		維持;拡充	
07	高齢者生産活動センター維持管理事業	指標:売上高	2,150,689	1,889,139	2,786,000	48,000	千円	A	
			2,150,689	1,889,139	2,786,000	50,269		維持;維持	
08	龍勢会館誘客施設管理事業	指標:利用人数	5,888,743	8,240,983	3,721,000	11,000	人	B	○
			5,888,743	8,240,983	3,721,000	9,117		維持;拡充	
09	みどりの村関連誘客施設管理事業	指標:利用人数	670,993	670,993	683,000	2,000	人	B	
			670,993	670,993	683,000	2,311		維持;拡充	
10	吉田石間交流学習館施設維持管理事業	指標:利用人数	2,213,290	2,029,105	2,087,000	400	人	B	
			2,213,290	2,029,105	2,087,000	457		維持;拡充	
11	城峯山ふれあいの森誘客施設管理事業	指標:利用人数	1,998,960	1,974,120	1,993,000	200	人	B	
			1,998,960	1,974,120	1,993,000	454		維持;拡充	
12	元気村誘客施設管理事業	指標:利用人数	11,832,790	10,436,060	9,736,000	23,000	人	B	◎
			11,832,790	10,436,060	9,736,000	14092		維持;拡充	
13	上下流交流事業	指標:イベント参加者	52,979	0	0	-	-	D	
			52,979	0	0	-		完了;完了	
14		指標:							

(参考) 最終予算額(円) 34,272,000 31,679,000

事業費の合計(円) (A) 33,164,928 31,512,545 28,663,000

財源内訳	国庫支出金			
	県支出金	37,800	1,536,720	40,000
	地方債			
	その他特定一般財源	90,200	138,750	83,000
		33,036,928	29,837,075	28,540,000

正規職員	業務量	8.00人	8.00人
	人件費(B)	46,950,154	48,330,688
臨時職員 (事業費に含む)	業務量	0.78人	0.78人
	人件費	1,003,102	749,037

事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B) 80,115,082 79,843,233

【重点化欄】

評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から

◎:特に重点化必要事業(1つ以内)

○:重点化必要事業(1つ以内)

△:劣後化可能事業(1つ以内)

▲:特に劣後化可能事業(1つ以内)

成果の方向性	拡充	x	G,B	B,C	C
	維持	x	B	A	x
	縮小	x	C	x	x
	休廃止	D	x	x	x
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ 農業関連施設、観光関連施設の入込客数を増大することにより地域の活性化が図れる。行ってみたい住んでみたい街づくりを推進することで多くの観光客が訪れることになるため、指標の設定は妥当である。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？(過不足がある場合は、改善提案に記載する。) 本庁環境部、産業観光部、地域整備部と連携して吉田地域の振興を図っている。幹線道路の整備、遊休農地対策、龍勢を始めとする観光の推進など、地域住民の生活環境の向上とともに、自然に親しむ集客イベントを行っている。また、道の駅龍勢会館を拠点とする情報の発信等、各観光施設の管理運営を指定管理することにより効率的な運営を行っている。
実施主体の妥当性	事業に対する民間(市民、企業、NPO)との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 行政事務に関しては秩父市で行うことが適切であり、施設管理については条例により指定管理者を指定して管理することが適切である。また高齢者活動生産センター等については、市の第三セクター「(株)龍勢の町よしだ」で運営することにより、六次産業化等の推進や特産品開発による地域の活性化に寄与できるため妥当である。

↓ Action

◆改善提案◆

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
<p>表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、◎、○、△、▲を選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述</p> <p>元気村、山逢の里は吉田地区で利用者数の多い宿泊施設であり、利用者が拡大すれば基本事業指標である入込客数が増加するとともに、周辺施設に与える経済効果も高いため重点化した。</p> <p>さらに、龍勢会館を含む市内施設を管理運営する第三セクター(株)龍勢の町よしだについては、経営の合理化や社員の処遇改善を目指し、(株)ちちぶ観光機構との合併を推進した結果、平成30年6月の正式合併に結びつけた。合併後の安定した経営を目指す必要があるため、第三セクターが指定管理者となり運営する施設管理事業を重点化した。</p>		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
上下流交流事業	荒川水系の上下流地域の交流として実施してきたが、所期の目的を達成したため、今後は野外水道教室として実施することとなった。	
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)		
予算を伴わない 短期的(1~2年)に 取り組む改善提案	利用者へ安定的・継続的なサービスの提供を受けられるように指定管理者との連絡体制を強化し、ニーズにあった誘客に努める。	29年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下) 秩父吉田の龍勢が国の重要無形文化財に指定されたことを契機に、より一層のおもてなしサービスが提供できるよう指定管理者との連絡調整体制を強化し、吉田地域全体の誘客効果に繋がるように努める。 四半期ごとの指定管理モニタリングチェックシートを活用し、現地確認・書類による内容の確認に努め、連絡調整の強化に努めた。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(5)民間活力の活用促進
予算を伴う 短期的(1~2年)に 取り組む改善提案		
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	
中長期的(3~5年)に 取り組む改善提案	合併経営合理化を図るために合併した第三セクター(株)龍勢の町よしだの運営について、収益性、効率性、生産性、将来性を考慮した安定経営に努める。	合併により最大の経営合理化を図った第三セクター(株)龍勢の町よしだの運営について、収益性、効率性、生産性、将来性を考慮した合併後の安定経営を目指し、関係機関との調整に努める。 経営の合理化や社員の処遇改善を目指し、(株)ちちぶ観光機構との合併を推進した結果、平成30年6月の正式合併に結びつけた。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(5)民間活力の活用促進
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー		
利用者へ安定的・継続的なサービスの提供が受けられるように指定管理者との連絡体制を強化し、ニーズにあった誘客に努め、リピーターの増加、その他周辺施設の利用拡大に繋がる。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	新井 昭太郎	電話番号 0494-72-6083
----------------------	--------	----------------------